

## 輸送包装懇話会 平成29年度日程

平成29年度の開催予定です。

詳細については「輸送包装懇話会 NEWS」にて、会員の皆様にご案内いたします。

	第128回 講演会	第129回 講演会	第130回 見学会	第131回 講演会
日程・時間	7月7日(金) 13:30~17:30	9月15日(金) 13:30~17:30	11月頃を予定	平成29年2月2日(金) 13:30~17:30

## 平成28年度輸送包装懇話会活動実績

昨年度催した輸送包装懇話会の概要を紹介いたします。

例会開催日	テーマと講演要旨
<b>第124回 講演会</b> 7月1日(金)	<p><b>特 集：輸送環境と測定</b></p> <p><b>テーマ1：「コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策」</b> 講 師：株式会社 MTI 高橋 寿和 氏</p> <p>ドライコンテナを用いた国際輸送は直射日光を含めた環境影響により温度変化が発生します。講演では陸上輸送、コンテナヤードや海上などの状態の違い、またコンテナ船内の蔵置位置の違いによる温度変化など、計測から得られた特徴的な高温と低温のほかに、コンテナ天井面や貨物表面への結露発生メカニズムや温湿度に関連するダメージの対策と効果についてお話しいただきました。</p> <p><b>テーマ2：「実輸送環境の計測事例」</b> 講 師：一般社団法人 日本海事検定協会 齋藤 威志 氏</p> <p>海事検定協会では事業の一つとして、「貨物輸送中の衝撃値に関するデータベースの作成」と題し、様々な輸送環境の加速度を計測してホームページ上で無償公開しています。計測を開始して5年経過し、陸上ではトラックと鉄道、海上では RORO 船と台船、また航空機の加速度も計測しています。計測開始までの検討過程や計測手法、また計測結果の一部を報告、解説していただきました。</p>
<b>第125回 講演会</b> 9月16日(金)	<p><b>特 集：新技術の導入事例と提案</b></p> <p><b>テーマ1：「輸送包装におけるCAEを活用した包装設計・評価技術開発」</b> 講 師：三菱電機株式会社 横山 彰久 氏</p> <p>電機機器の包装仕様は、一般的に過去の実績をベースに改良し、試作・評価のトライアンドエラーで決定することが多い。特に大型製品や机上での強度計算が困難な構</p>

	<p>造の包装では、CAE の活用で試作回数削減や、評価の繰り返しと言った無駄の排除が期待できます。CAE の活用事例として、空調機や給湯機の包装について、圧縮や落下に対する現象を解析し、包装仕様を検討した事例を紹介いただきました。</p> <p><b>テーマ 2 : 「費用対効果を高める 3D プリンタの選定および運用」</b>  <b>講 師 : 武藤工業株式会社 堤 尚之 氏</b></p> <p>3D プリンタの普及が急速に進み、試作品の開発やデザイン、機能性の確認、製造現場での治具・固定具の制作など、その利用は広がっています。3D プリンタの基本的な仕組みと、3D プリンタを活用している国内外の事例を紹介いただき、また費用対効果を高める 3D プリンタの選定および運用について、実機による造形や、サンプルも交え、ご説明いただきました。</p>
<p><b>第 126 回 見学会</b> 12月8日(木)</p>	<p><b>見学先 : トヨタ L&amp;F カスタマーズセンター東京</b></p> <p>現場の悩みに応える、見て、触って、体験して、物流の様々な課題をの解決をコンセプトとした施設です。映像による概要説明、物流改善小物コース、物流改善大物コース、4S 改善コースに分れ、物流改善小物コースは実際の流通倉庫を模した施設で、入庫、ピッキング、仕分け、梱包、帳票類発行、検品といった実フローに沿った自動化。また物流改善大物コースでは一定の数を保管する倉庫に、効率性と保管効率の相反する要素の関係性を。また 4S 改善コースでは、ポカよけ施策や安定した品質で作業を行う人材の育成など、改めて現場と人のつながりを考える見学となりました。</p>
<p><b>第 127 回 講演会</b> 平成 29 年 2月10日(金)</p>	<p><b>特 集 : 包装資材“紙”</b></p> <p><b>テーマ 1 : 「段ボールの機能化について」</b>  <b>講 師 : レンゴー株式会社 小野 嘉則 氏</b></p> <p>段ボールは加工食品、青果物、飲料、家電をはじめ、多くの商品の包装・輸送容器に使われます。その役割は内容品を傷つけず、安全に、品質の劣化なく届けることですが、段ボールの力学的機能だけでは不十分な場合やその特性が問題となる場合もあり、その場合、商品に応じた特殊機能を付加した機能性段ボールが求められます。機能性段ボールの需要と多様化するニーズについて、事例を交えて紹介いただきました。</p> <p><b>テーマ 2 : 「青果物包装に関する全農の取組みについて」</b>  <b>講 師 : 全国農業協同組合連合会 鈴木 富隆 氏</b></p> <p>J A 全農は、生産された農畜産物を安心して消費者まで輸送できる容器を提供しています。特に青果物用段ボール箱は、青果物が水分を多く含む特性に配慮し、厳しい品質管理およびユーザー目線での適正包装化提案を実施しています。今回、そのための試験機関の紹介や、国産農産物輸出の通いコンテナ化など、最近の農産物包装トレンドや取組み事例を紹介いただきました。</p>

輸送包装懇話会では、選任された幹事が、輸送包装に特化したテーマを選定しています。以下に平成 25 年度から 27 年度に開催した懇話会のテーマを紹介いたしますが、会員の皆様からの「こんな話が聞きたい」「こんな場所の見学をしたい」といったご提案も常時受け付けております。お受けした要望は、翌期のテーマ選定の際、候補として検討させていただきますので、遠慮なく幹事、または事務局までお知らせください。

## 平成27年度～25年度 輸送包装懇話会活動実績

開催回/日	テーマ	講師
第123回 H28.2.17	①保険会社から見た物流損害の防止 ②トラックの振動と車両技術	・損害保険ジャパン日本興亜(株) 生貝 友哉 氏 ・日野自動車(株) 榎本 満 氏
第122回 H27.11.24	①最新の物流システム・機器について ②家電製品の包装改善・今後の備え	・(株)ダイフク 鳥谷 則仁 氏 ・三菱電機(株) 北本 尚樹 氏 武田 正臣 氏
第121回 H27.10.6	見学会：日本郵便(株) 川崎東郵便局	・日本郵便(株)
第120回 H27.6.24	①マイクロフルートの最新技術動向 ②段ボール原紙の開発動向と包装資材総合的な取り組みについて	・(株)クラウン・パッケージ 八木野 徹 氏 ・王子産業資材(株) 林 裕一郎 氏
第119回 H27.3.13	①青果物の品質を守るための包装技術と輸送環境計測 ②E コマース包装における課題と取り組み-消費財小売業界の事例を中心に	・(独法)農業・食品産業技術総合研究機構 北澤 裕明 氏 ・DHL サプライチェーン(株) 武田 一哉 氏
第118回 H26.11.5	①講演会：包装設計に生かす輸送環境の計測と解析のポイント ②見学会：ヤマトホールディングス(株) 羽田クロノゲート	・エクサーチ(株) 高木 雅広氏
第117回 H26.9.9	①振動試験の条件適正化を目指した“輸送環境調査”および“試験条件導出法”の紹介 ②大型PET 飲料カートン 鉄道輸送による擦れ防止対策について	・大阪府立産業技術総合研究所 津田 和城 氏 ・キリンビバレッジ(株) 吉井 孝平 氏
第116回 H26.6.25	①段ボール箱の胴ぶくれに及ぼす含水率の影響 ②レーザーマーキングによる包装材のコストダウン及び新しい意匠表現の提案	・レンゴー(株) 東山 哲 氏 ・京セラドキュメントソリューションズ(株) 瀬戸上 裕 氏
第115回 H26.3.12	①見学会：日本トイザラス市川物流センター	・日本トイザラス(株) 片野 真一 氏
第114回 H25.11.21	①外装包装擦れ汚れと水性インキ、水性ニス活用の活用 ②一般に入手可能な各国・地域の統計データから物流環境を推定する方法	・サカタインクス(株) 杉山 満 氏 ・エクサーチ(株) 高木 雅広 氏
第113回 H25.9.6	①包装設計における設計検証技術 ②輸送包装への取り組み	・三菱電機(株) 潮 敬之 氏 ・京セラドキュメントソリューションズ(株) 中村 敏之 氏
第112回 H25.6.28	①危険物の国際航空輸送規制について (特に IATA の動向)	・丸尾航空危険物研究所 丸尾 進 氏